

**JASDAQ**

証券コード：5742

# 第38期 事業報告書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで



**エヌアイシ・オートテック株式会社**

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第38期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の事業の概況及び決算につきまして以下のとおりご報告申し上げます。

当事業年度におけるわが国の経済は、米国のサブプライム住宅ローン問題を発端とする世界的な金融不安の高まりが株式市場の低迷や急激な円高を引き起こし、年央から国内外の需要が急速に減退したため、企業収益が大幅に悪化する状況となりました。特に自動車業界・電機業界を中心とした製造業は生産調整による大幅な減産や設備投資の延期・抑制等を余儀なくされ、また雇用調整の実施によって生活防衛意識が高まり、個人消費も伸び悩む状況となるなど、景気は急速に悪化いたしました。

このような厳しい経済環境の中で、当社の取引先は多種多様にわたっていることが営業上の特色でありましたが、多くの企業の事業環境悪化の影響を受け、第3四半期より当社の売上は伸び悩む状況となりました。一方では、経費削減にも努めてまいりましたが、アルファフレーム部門の利益率低下や商事部門の売上高減少に伴って、利益確保が大変厳しい状況となりました。このような状況の下で、他社との差別化を図るべく期首に立ち上げた拡販プロジェクトが本格的に稼働し、自社開発の受発注・設計・組立ソフトである3D-CADソフト（AMS）を駆使したサポートサービス「カクチャ™」が、お客様への提案力向上や納期短縮効果等により受注率向上に寄与しました。

これらの結果、当事業年度の売上高は5,735百万円（前期比45.0%減）、営業利益は253百万円（前期比45.2%減）、経常利益は265百万円（前期比44.2%減）、当期純利益は164百万円（前期比38.7%減）となりました。

なお当初は、当期純利益を175百万円と見込んでおりましたが、世界的な経済の回復が平成21年度内でも見込まれない場合を想定し、今後の利益計画の見直しと繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産を11百万円取崩したことにより、当期純利益が164百万円となりました。

## 各事業部門の売上構成

（単位：千円）

区 分	第37期		第38期		増 減	
	平成20年3月期		平成21年3月期		売上金額	前期比
	売上金額	構成比	売上金額	構成比		
アルファフレーム部門	1,753,257	16.8%	1,970,845	34.4%	217,587	12.4%
装 置 部 門	2,003,907	19.2%	1,992,944	34.7%	△10,963	△0.5%
商 事 部 門	6,676,641	64.0%	1,771,867	30.9%	△4,904,773	△73.5%
合 計	10,433,805	100.0%	5,735,657	100.0%	△4,698,148	△45.0%

### ① アルファフレーム部門

当部門におきましては、前事業年度より増加傾向にあった自動車関連企業からの需要による受注や液晶関連業界及びデジタル家電関連企業からの大口案件を確保したことにより、第2四半期まで売上高は順調に推移しました。第3四半期からは景気後退による自動車関連企業をはじめとした産業設備関係の設備投資計画の延期や縮小の影響により、受注量は減少傾向となりました。しかしながら、「カクチャ™」を駆使した積極的な営業活動を展開し、液晶関連業界及びデジタル家電関連企業からの大口案件の受注も確保することによって、前事業年度の売上高を上回る状況となりました。

これらの結果、当部門の売上高は1,970百万円（前期比12.4%増）となりました。

## ② 装置部門

当部門におきましては、前事業年度より継続受注しております海外向けフラットパネルディスプレイ（以下「FPD」という。）製造装置用カスタムクリーンブースに加え、光ディスク製造関連企業からマシンカバー等を継続的に受注することができました。しかしながら、第3四半期からは、安定的に受注確保していた計画生産品が、在庫調整のための生産量調整によって急激に減少し、また、FPD製造装置用カスタムクリーンブースについても、取引先の設備投資計画の大幅な見直しによって、納入時期が延期となる厳しい状況もありましたが、売上高は前事業年度並みとなりました。

これらの結果、当部門の売上高は1,992百万円（前期比0.5%減）となりました。

## ③ 商事部門

当部門におきましては、前事業年度から継続受注しておりました自動車部品製造関連企業向け大型機械設備投資案件及びこれら機械設備に付随する消耗品等の売上も第2四半期で終了となりました。第3四半期からは、新たな案件に対して積極的な営業を展開してまいりましたが、景気後退に伴う自動車部品製造関連企業向け機械設備投資計画の見直しによる受注減少に加え、安定的に受注を確保しておりました工業用砥石、油脂類、工具・ツールの消耗品についても、製造業各社の生産量調整の余波を受け、大幅に売上が減少する状況となりました。

これらの結果、当部門の売上高は1,771百万円（73.5%減）となりました。

当社は、「株主に対する利益還元」を戦略上の重要な経営課題として認識しており、安定的な経営基盤の強化及び業容の充実に一層の努力を行って収益の拡大を図り、経営成績やキャッシュ・フローの状況を勘案して適切な配当を実施していくことを基本方針としております。

なお、当事業年度におきましては、前述のとおり大変厳しい経済環境の中での営業展開となりましたが、当社将来の事業展開と経営体質強化のために内部留保を確保しつつ、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、平成21年3月31日現在の株主に対し、1株につき1,000円とさせていただきます。

今後のわが国の経済は、金融危機や経済危機が進行する中、様々な景気対策や金融政策が打ち出されているものの、景気回復には今しばらくの時間を要することが予測されます。内外需ともに厳しさが増し、景気後退の局面が当面続くことが予想され、当社を取り巻く経済環境は極めて厳しい状況が続くものと認識しております。このような環境を将来の飛躍への大きなチャンスと捉え、必ず回復する経済状況にいち早く対応すべく研究開発及び拡販に積極的に力を注いでまいります。

具体的には、「カクチャ™」の更なるブラッシュアップや装置部門等で蓄積してきた技術ポテンシャルを活かした新しい付加価値の創造を通じて、受注・売上並びに利益確保に努めてまいります。特にアルミ構造材を導入していない業種、顧客へ「カクチャ™」を通して需要の創出に努めてまいります。

また、今後の科学技術の進歩・高度化、更には環境技術導入推進の高まりにより、多岐にわたる産業で、クリーン環境技術の需要が拡大すると予想されます。その分野においては、当社特有である効率性の高いクリーン技術の活用が有効であることより、より一層の普及活動に努めてまいります。

更に、経営環境の悪化に対処すべく経費節減を徹底し、全社一丸となって効率的な運営を図っていく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月

代表取締役社長 西川 浩 司

本ページ及びこれに続く図表等は、当社の概況等を要約・作成したものであります。  
 詳細は、本文の該当ページをご覧ください。

## 事業の概況

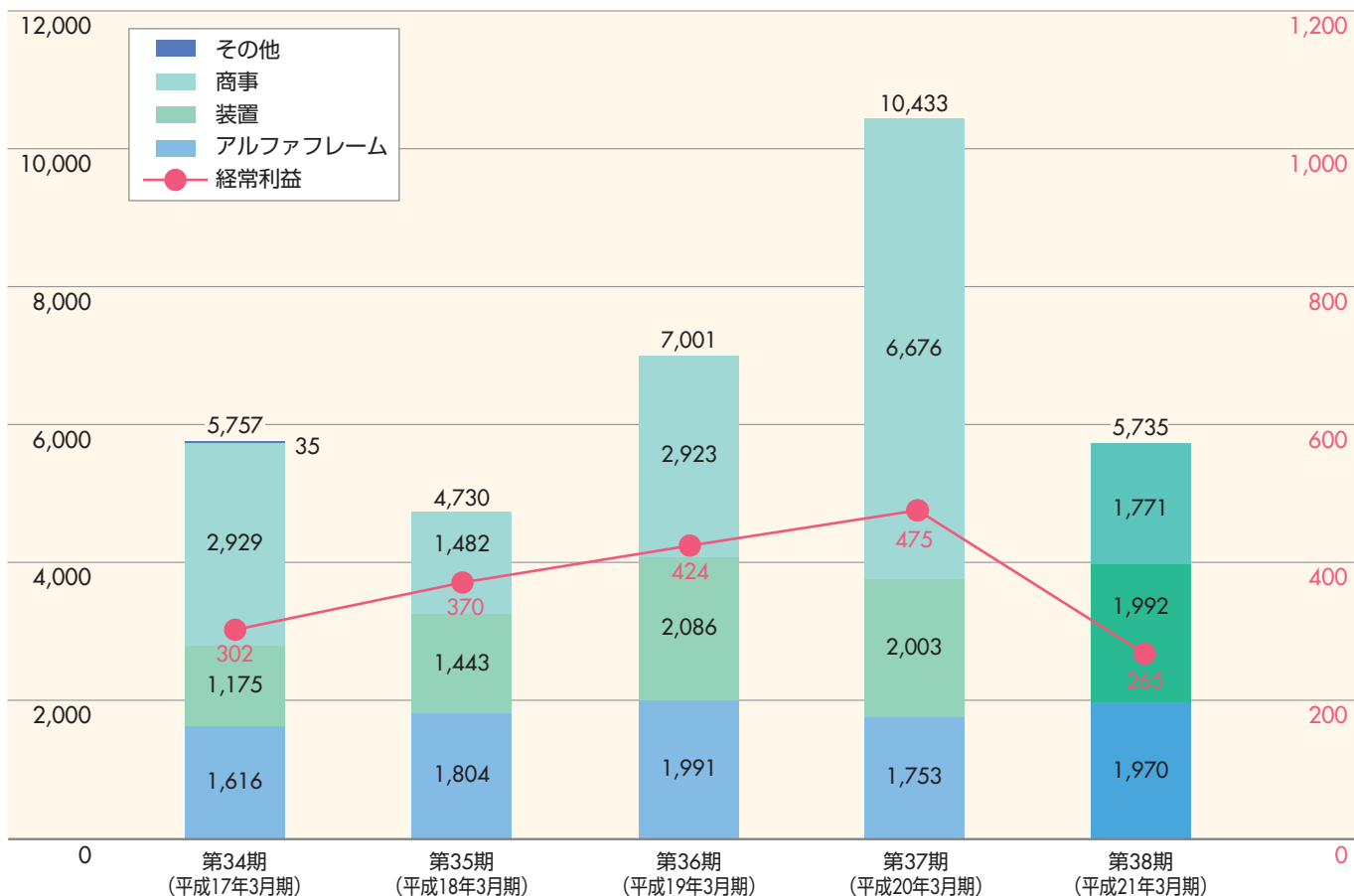
米国のサブプライム住宅ローン問題を発端とする世界的な金融不安によって年々から国内外の需要が急速に減退し、特に自動車業界・電機業界を中心とした製造業は生産調整による大幅な減産や設備投資の延期・抑制等により、第3四半期より当社の売上は伸び悩む状況となりました。

このような状況の下で、他社との差別化を図るべく期首に立ち上げた拡販プロジェクトが本格的に稼働し、自社開発の受発注・設計・組立ソフトである3D-CADソフト（AMS）を駆使したサポートサービス「カクチャ™」が、お客様への提案力向上や納期短縮効果等により受注率向上に寄与しました。

これらの結果、当事業年度の売上高は5,735百万円（前期比45.0%減）、営業利益は253百万円（前期比45.2%減）、経常利益は265百万円（前期比44.2%減）、当期純利益は164百万円（前期比38.7%減）となりました。

### 事業部門別売上高及び経常利益の推移

（単位：百万円）



## 主要な経営指標等の推移

回次	第34期	第35期	第36期	第37期	第38期
決算年月	平成17年3月	平成18年3月	平成19年3月	平成20年3月	平成21年3月
売上高 (千円)	5,757,147	4,730,269	7,001,569	10,433,805	5,735,657
経常利益 (千円)	302,251	370,733	424,270	475,407	265,456
当期純利益 (千円)	157,254	221,929	239,885	268,016	164,394
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	—	—	—	—	—
資本金 (千円)	25,000	25,000	156,100	156,100	156,100
発行済株式総数 (株)	50,000	50,000	55,000	55,000	55,000
純資産額 (千円)	2,048,356	2,285,479	2,721,932	2,868,922	2,938,177
総資産額 (千円)	4,294,995	3,977,393	4,706,507	6,084,241	3,973,451
1株当たり純資産額 (円)	40,967.13	45,709.58	49,489.68	52,651.40	53,922.40
1株当たり配当額 (円) (内、1株当たり中間配当額)	750 (—)	750 (—)	850 (—)	1,000 (—)	1,000 (—)
1株当たり当期純利益 (円)	3,145.09	4,438.58	4,452.49	4,910.75	3,017.02
潜在株式調整後1株当たり当期純利益 (円)	—	—	—	—	—
自己資本比率 (%)	47.7	57.4	57.8	47.1	73.9
自己資本利益率 (%)	7.9	10.2	9.6	9.6	5.7
株価収益率 (倍)	—	—	18.2	7.2	6.2
配当性向 (%)	23.8	16.9	19.1	20.4	33.1
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	143,906	77,543	453,698	1,018,820	△492,964
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△119,783	66,511	△73,552	△190,473	△46,062
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△179,770	△167,247	△251,621	△120,533	△74,220
現金及び現金同等物の期末残高 (千円)	190,307	167,115	295,640	1,003,454	432,730
従業員数 (名) (外、平均臨時雇用者数)	118 (36)	121 (36)	140 (28)	143 (17)	149 (23)

(注) 1 当社は連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 持分法を適用した場合の投資利益につきましては、関連会社がないため記載を省略しております。

4 平成20年3月期の1株当たり配当額1,000円には、創業80周年記念配当150円を含んでおります。

5 純資産額の算定にあたり、平成19年3月期から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。

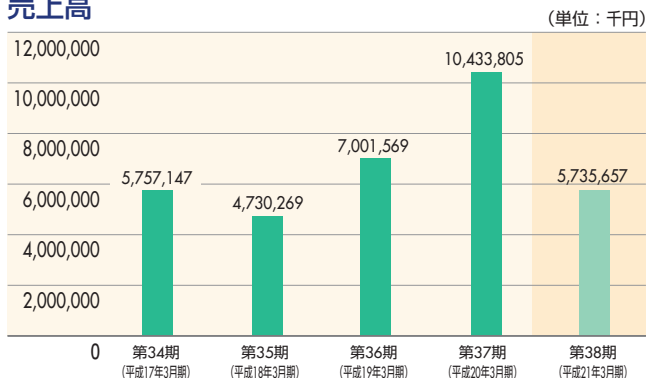
6 潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

7 平成18年3月期までの株価収益率は、当社株式が非上場であり、期中平均株価の把握が困難なため記載しておりません。

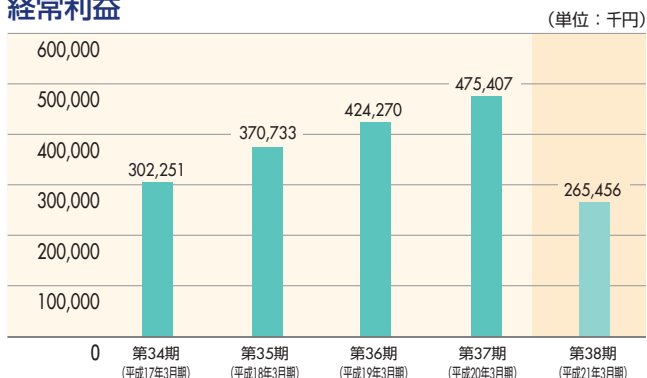
8 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の年間平均雇用人員(1日8時間換算)であります。

## 業績等の推移 ②

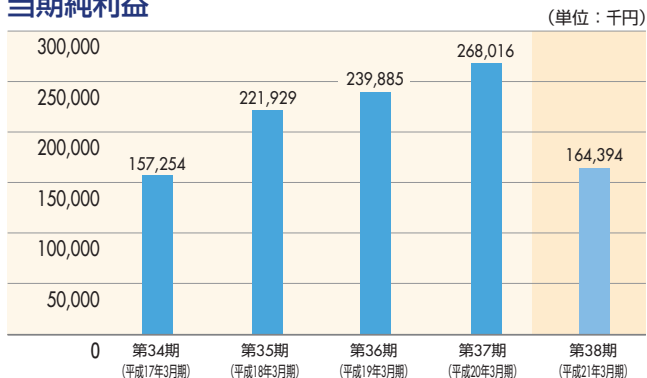
### 売上高



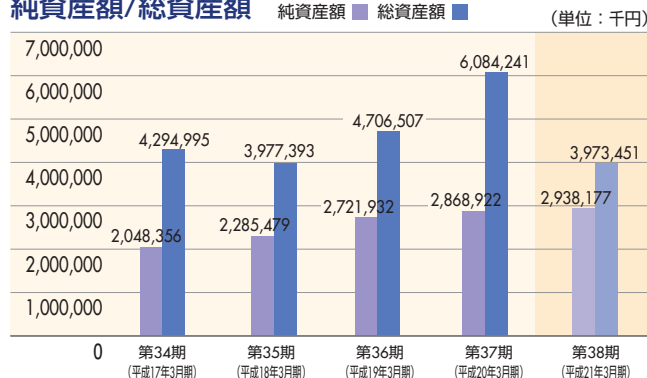
### 経常利益



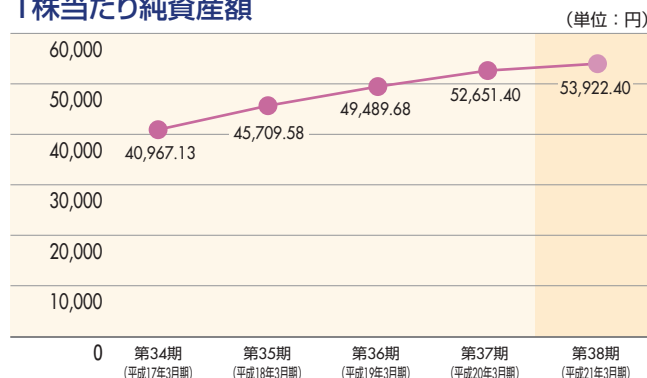
### 当期純利益



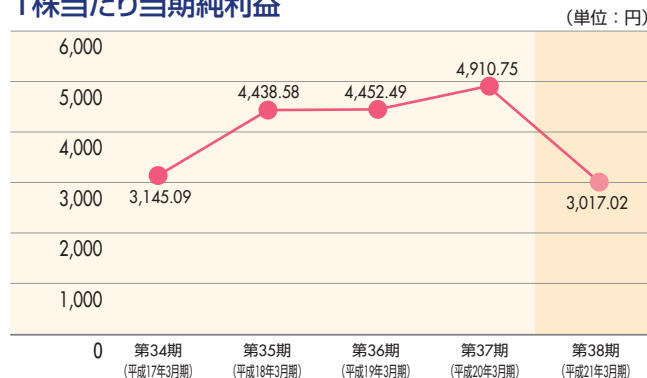
### 純資産額/総資産額



### 1株当たり純資産額



### 1株当たり当期純利益



当社は、地球環境に優しくリサイクル性に優れたアルミ構造体『商標名「ALFA FRAME® SYSTEM」(以下、アルファフレームシステムという。)]の開発・設計・製造・販売を行う「アルファフレーム部門」。アルファフレームの特徴を活かし、各種工場で使用される洗浄・検査・搬送・梱包等の自動化装置及び、クリーンルーム・ブース等の開発・設計・製造・販売を行う「装置部門」。上記2部門のメーカー機能を活用した設備導入提案営業及び工業生産財を取り扱う「商事部門」。これら3部門の相乗効果による高付加価値技術の提供を目的とした事業展開を行っております。



- アルミ製構造部材の国内でのパイオニア的存在
- 経験豊富なCAD設計陣による技術設計支援・サービス
- 新製品開発力
- 豊富な製品群“1500以上”による多彩なシステムの提供



- 幅広い業界で利用される技術
- 特定の業界に依存しない業務体系
- 先端技術力を持つ企業から積極的受注体制



アルファ  
フレーム  
部門

### 3つの 事業部門

アルファフレーム+装置+商事  
=高付加価値技術の提供

装置  
部門

商事  
部門



- 「メーカー機能」を活用した設備の導入提案営業



## ① アルファフレーム部門

**ALFA FRAME® SYSTEM** アルファフレームシステムの提案  
私たちは国内でいち早く、構造用アルミフレームを開発し  
フレームのシステム化を行う事により  
装置設計・製作の合理化・省力化に貢献してきました。  
装置メーカー自らの経験およびノウハウより誕生した  
“高性能”かつ“高品質”な  
アルミ構造体モジュール&システム。

アルファフレームの特徴

- 環境にやさしいリサイクル性
- 軽く強く美しい
- 急な設計変更や増設に対応
- 豊富な製品群“1500以上”
- 幅広い分野に対応

# ALFA FRAME® SYSTEM



Automobile

自動車

Semiconductor / FPD / Clean

半導体・液晶・クリーン関係

Microelectronics / Machine

電子・精密機械

Pharmaceutical / Food

薬品・食品

### 新商品 1

高剛性フレーム  
H10シリーズ



AFS-50200H-10  
AFS-100200H-10

### 新商品 2

M8  
45角シリーズ



AFS-9090L-8  
AFS-90180L-8

### 新商品 3

アースブラケット  
アースナット



ABLEシリーズ  
NESSシリーズ

### 新商品 4

スライドドア



ADFシリーズ

### 新商品 5

φ30パイプフレーム  
パイプフレーム用取手



ASTP-30  
DTPシリーズ

### 新商品 6

AL-LED



LEDライト部H3タイプ(AC100V)  
LEDライト部H2タイプ(AC100V/DC24V)  
LEDライト部H1タイプ(DC24V)



## ② 装置部門

半導体・電子・精密機械・医療・食品業界まで、あらゆる用途に応じた洗浄・検査・搬送・梱包等の自動化・省力化装置及びクリーンブース等の開発・設計・製造・販売を行っております。アルファフレームシステムを基本部材として使用することにより、製造の効率化や短納期化が可能となります。

また、仕様を規格化した製品だけでなく、生産ライン構築の個別ニーズに対応し、お客様の必要に応じた様々な製品開発も行っております。

# トータルソリューションをご提案 NICのオーダーメイド開発

### FA装置

(ファクトリーオートメーション)

- 洗浄装置
- 製造装置
- 搬送装置
- 検査装置



各種コンベア  
Alfa Conveyor



クリーンワゴン  
Clean Wagon



ボックス式洗浄装置  
Box Type Washer



簡単組立式クリーンブース  
Alfa Clean System

### クリーン関係

- クリーンブース
- クリーンベンチ
- ミニエンバイロメント
- FFU・各種クリーン機器



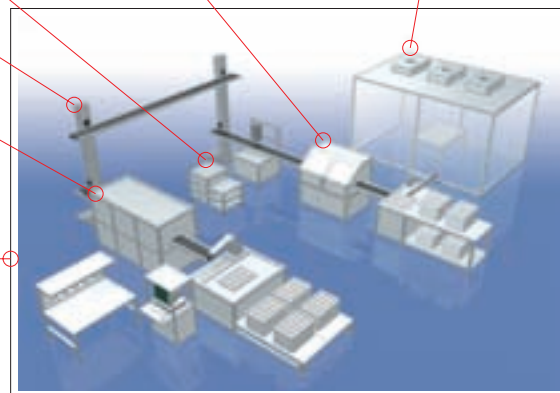
検査装置  
Inspection Device

### 工業製品 その他

- マシンカバー
- 作業台
- マシンベース
- 棚
- 収納ケース
- ストッカー



クリーンルーム  
Clean Room



### ③ 商事部門

工業用砥石、工具・ツール等の消耗品と工場等の機械設備が主要な取扱商品であります。これらは、リピート受注が多いことが特徴となっており、メーカー機能を持った商事部門として、安定したビジネスを展開しております。

また、お客様のニーズに合わせ機械メーカーに注文し、当社装置部門が製作した自動搬送装置、洗浄機、検査装置を組み合わせ、最適なフルオートメーションラインを提供しております。



●工業用砥石



●油脂類



●工具・ツール



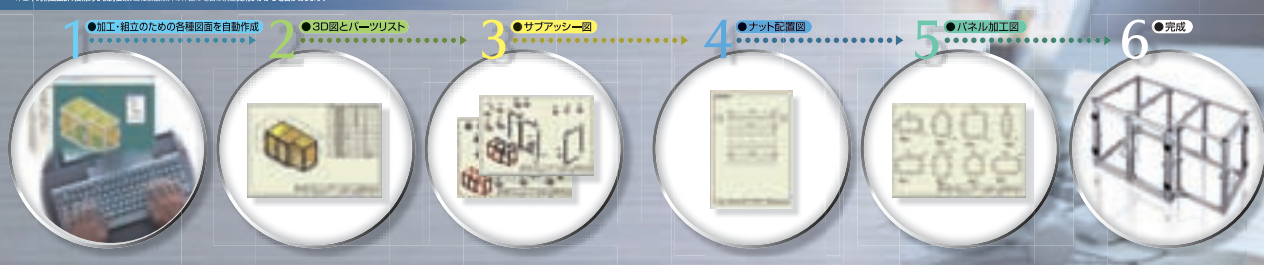
●機械設備

### 設計・組立サポートサービスKAKCHAR™ (カクチャ)

当社ノウハウの蓄積とお客様からのご要望から、受発注を容易にし、納期を驚異的に短縮する世界初の受発注・設計・組立支援ソフトを開発しました。このシステムを活用したサポートサービス（商品名「カクチャ™」）によって、さらに当社のサービス、ノウハウを広くご提供し、アルミフレームでの製作効率化の課題となっていた設計・組立・現地据付をサポートいたします。



ご発注後、ただちに各種図面をご提供！  
 NIC販売サービスが設計サポート及び各種ドキュメントをご提供します。\*1)



**貸借対照表** (平成21年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目					金 額	科 目					金 額
<b>資 産 の 部</b>						<b>負 債 の 部</b>					
流 動 資 産					2,315,691	流 動 負 債					896,351
現 金 及 び 預 金					432,730	支 払 手 形					586,849
受 取 掛 手 金					590,533	買 掛 金					104,491
商 品 及 び 製 品					652,806	リ ー ス 債 務					12,544
仕 掛 材 料 及 び 貯 蔵 品					52,802	未 払 金					30,440
原 材 料 及 び 貯 蔵 品					283,525	未 払 法 人 税 等					759
前 払 費 用					240,365	未 払 消 費 税 等					9,200
繰 上 償 還 税 金 資 産					3,747	未 払 費 用					19,443
未 収 還 付 法 人 税 等					38,692	前 受 金					76,940
そ の 他 の 引 当 金					17,802	預 り 金					4,903
貸 倒 引 当 金					2,840	製 品 保 証 引 当 金					11,704
固 定 資 産					△ 156	賞 与 引 当 金					39,074
有 形 固 定 資 産					1,657,760	固 定 負 債					138,921
建 築 物					1,267,134	リ ー ス 債 務					27,037
減 価 償 却 累 計 額					1,447,749	退 職 給 付 引 当 金					111,884
機 械 及 び 装 置					△ 774,240	負 債 合 計					1,035,273
減 価 償 却 累 計 額					96,928	<b>純 資 産 の 部</b>					
車 両 運 搬 具					△ 85,271	株 主 資 本					2,948,430
減 価 償 却 累 計 額					224,219	資 本 金					156,100
工 具 及 び 備 品					△ 186,792	資 本 剰 余 金					146,100
減 価 償 却 累 計 額					29,647	資 本 準 備 金					146,100
土 地 建 築 物					△ 26,272	利 益 剰 余 金					2,680,640
減 価 償 却 累 計 額					151,192	利 益 準 備 金					8,750
無 形 固 定 資 産					△ 99,966	そ の 他 利 益 剰 余 金					2,671,890
ソ フ ト ウ 工 ア					456,904	別 途 積 立 金					1,430,000
ソ フ ト ウ 工 ア					42,417	繰 越 利 益 剰 余 金					1,241,890
ソ フ ト ウ 工 ア					△ 9,381	自 己 株 式					△ 34,410
そ の 他 の 資 産					50,263	評 価 ・ 換 算 差 額 等					△ 10,252
投 資 有 価 証 券					41,950	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金					△ 10,252
出 産 更 生 債 権					6,366	純 資 産 合 計					2,938,177
破 産 延 税 金 資 産					1,947	負 債 及 び 純 資 産 合 計					3,973,451
保 険 積 立 金					340,362						
そ の 他 の 引 当 金					66,599						
貸 倒 引 当 金					3,370						
資 産 合 計					42						
					50,325						
					190,398						
					26,600						
					28,725						
					△ 25,700						
					3,973,451						

**損益計算書** (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		5,735,657
売 上 原 価		4,599,900
売 上 総 利 益		1,135,756
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		881,796
営 業 利 益		253,959
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	335	
受 取 配 当 金	3,144	
受 取 賃 借 料	643	
仕 入 割 引	5,926	
そ の 他	3,761	13,810
営 業 外 費 用		
社 債 利 息	214	
賃 貸 費 用	316	
手 形 売 却 損	1,763	
そ の 他	20	2,314
経 常 利 益		265,456
特 別 利 益		
投 資 有 価 証 券 売 却 益	1,999	
抱 合 せ 株 式 消 滅 差 益	23,398	
固 定 資 産 売 却 益	86	25,485
特 別 損 失		
固 定 資 産 売 却 損	50	
固 定 資 産 除 却 損	102	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	6,246	6,399
税 引 前 当 期 純 利 益		284,542
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	94,602	
法 人 税 等 調 整 額	25,545	120,147
当 期 純 利 益		164,394

**株主資本等変動計算書** (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：千円)

	株 主 資 本								自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			利益剰余金合計		
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金					
					別途積立金	繰越利益剰余金				
前 期 末 残 高	156,100	146,100	146,100	8,750	1,430,000	1,131,984	2,570,734	△ 34,410	2,838,524	
当 期 変 動 額										
剰 余 金 の 配 当			—			△ 54,489	△ 54,489		△ 54,489	
当 期 純 利 益			—			164,394	164,394		164,394	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			—				—		—	
当 期 変 動 額 合 計	—	—	—	—	—	109,905	109,905	—	109,905	
当 期 末 残 高	156,100	146,100	146,100	8,750	1,430,000	1,241,890	2,680,640	△ 34,410	2,948,430	

(単位：千円)

	評 価 ・ 換 算 差 額 等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
前 期 末 残 高	30,398	30,398	2,868,922
当 期 変 動 額			
剰 余 金 の 配 当			△ 54,489
当 期 純 利 益			164,394
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△ 40,650	△ 40,650	△ 40,650
当 期 変 動 額 合 計	△ 40,650	△ 40,650	69,255
当 期 末 残 高	△ 10,252	△ 10,252	2,938,177

## 会社の概要 (平成21年3月31日現在)

社名	エヌアイシ・オートテック株式会社 NIC Autotec, Inc.		
設立	昭和46年5月17日		
資本金	156,100千円		
従業員数	149名		
事業所	本社	〒930-0034	富山県富山市清水元町7番8号
	東京本社	〒135-0063	東京都江東区有明三丁目1番25号
	流杉工場	〒939-8032	富山県富山市流杉255番地
	立山工場	〒930-0272	富山県中新川郡立山町塚越398番176号
	技術開発センター	同上	
	関西作業場	〒578-0965	大阪府東大阪市本庄西二丁目4番29号

## 役員構成 (平成21年6月27日現在)

代表取締役社長	西川浩司
取締役副社長	西川武
取締役	土山邦夫
取締役	西尾謙夫
常勤監査役	藤島敏夫
社外監査役	土屋重義
社外監査役	白石康広

## 会計監査人

監査法人トーマツ 東京都港区芝浦四丁目13番23号



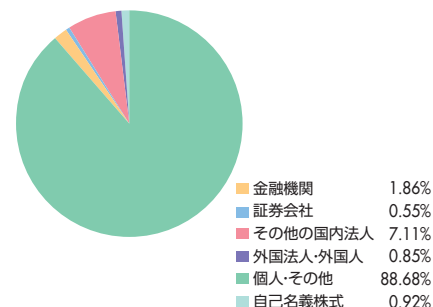
## 株式の状況 (平成21年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 200,000株  
 (2) 発行済株式の総数 普通株式 55,000株 (自己株式511株含む)  
 (3) 株主数 3,000名  
 (4) 大株主の状況

株主名	持株数
西川浩司	37,043株
三協マテリアル株式会社	2,000株
エヌアイシ・オートテック従業員持株会	901株
ダイドー株式会社	700株
株式会社三井住友銀行	500株
西川武	500株

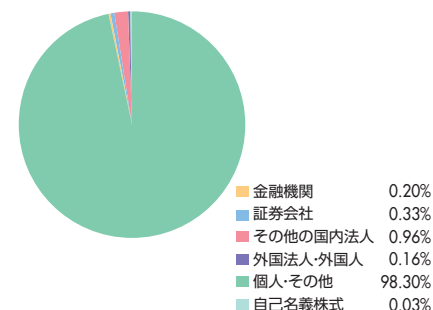
### (5) 所有者別株主分布状況 (所有株式数)

所有者区分	株数	構成比率
金融機関	1,023株	1.86%
証券会社	303株	0.55%
その他の国内法人	3,915株	7.11%
外国法人・外国人	471株	0.85%
個人・その他	48,777株	88.68%
自己名義株式	511株	0.92%



### (6) 所有者別株主分布状況 (株主数)

所有者区分	人数	構成比率
金融機関	6名	0.20%
証券会社	10名	0.33%
その他の国内法人	29名	0.96%
外国法人・外国人	5名	0.16%
個人・その他	2,949名	98.30%
自己名義株式	1名	0.03%



事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年  
 剰余金の配当基準日 3月31日  
 (中間配当を行う場合は9月30日)  
 定時株主総会 毎年6月下旬  
 単元株式数 1株  
 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社  
 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払い配当金の支払い、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

公告方法 当社ホームページ (<http://www.nic-inc.co.jp/>) に掲載します。  
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 ジャスダック証券取引所  
 証券コード 5742



## エヌアイシ・オートテック株式会社

〒930-0034 富山県富山市清水元町7番8号

<http://www.nic-inc.co.jp/>